

2022年2月14日

各位

会社名 株式会社シンシア
 代表者名 代表取締役執行役員社長 中村 研
 (コード番号: 7782 東証第一部)
 問合せ先 取締役執行役員管理部長 荒井 慎一
 (TEL. 03-5615-9059)

連結業績予想と実績値との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

2021年2月12日に公表いたしました2021年12月期通期業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は、本日開催の取締役会において、2021年12月31日を基準日とする剰余金の配当について、下記のとおりとすることを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件は、2022年3月30日開催予定の第14回定時株主総会に付議させていただき予定であります。

記

1. 通期業績予想と実績値の差異について

2021年12月期の連結業績予想と実績値の差異

(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,283	256	254	176	28.09
今回発表実績 (B)	4,557	105	113	83	13.39
増減額 (B-A)	274	△151	△140	△92	
増減率 (%)	6.4	△59.0	△55.3	△52.3	
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期)	4,188	209	215	142	22.92

2. 差異の理由

売上高につきましては、プライベートブランド商品につきましては、クリアレンズの売上高は、販売各社における販売計画の遅延等により1,270,527千円(前期比4.3%減)、カラーコンタクトレンズの売上高は第4四半期に大型案件の獲得などがあったものの新型コロナウイルス感染症拡大による需要減をカバーするには至らず688,932千円(前期比1.0%減)と厳しい状況が続きました。また、当社ブランドのカラーコンタクトレンズは、新型コロナウイルス感染症拡大により外出自粛の影響などにより売上高が422,690千円(同4.4%減)となりました。一方で、当社主力商品であるシリコーンハイドロゲル素材コンタクトレンズ「SINCERE 1DAY S」の売上高が967,661千円(同47.4%増)、ドラッグストア専売コンタクトレンズである「1DayEyeWell」シリーズの売上高が197,599千円(同28.4%増)などと順調に拡大しました。その結果、売上高は予想に対して6.4%増となりました。

利益面につきましては、為替レートが円安方向に推移したこと、当社及び海外子会社における商品の評価損を計上したこと、「Tmall Global(天猫国際)」へ出店した「Fiary 海外旗艦店」でのプロモーション活動による販売促進費などが想定以上に発生したこと、マーケティング活動を積極的に推進したことなどから、予想に対して営業利益では59.0%、経常利益では55.3%、親会社株主に帰属する当期純利益では52.3%、それぞれ減少いたしました。

なお、「Tmall Global (天猫国際)」へ出店した「Fiary 海外旗艦店」での売上高は中国政府によるゼロコロナ政策の影響などにより当初の見込みを大きく下回り、当社グループ全体の利益を押し下げる要因となりました。このような中、「Fiary 海外旗艦店」の継続は困難であると判断し 2022 年 2 月末をもって閉店することといたしました。

3. 剰余金の配当について

	決定額	直近の配当予想 (2021年2月12日公表)	前期実績 (2020年12月期)
基準日	2021年12月31日	同左	2020年12月31日
1株当たり配当金	5円00銭	9円00銭	13円00銭
配当金の総額	31,339千円	—	81,487千円
効力発生日	2022年3月31日	—	2021年3月31日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注) 2020年12月期期末配当金の内訳 普通配当 7円00銭 特別配当 6円00銭

修正理由

当社の配当政策につきましては、連結配当性向30%を目途としており、今後の業績予想、経営体質強化の為に必要な内部留保の確保など総合的に勘案し、安定的な配当を行うことを基本方針としております。2021年12月期の期末普通配当につきましては、1株当たり9円を予想しておりましたが、上記の実績値を踏まえ、1株当たり4円引下げ5円とさせていただくことといたしました。

以 上